

授業科目名： 保育内容（音楽表現）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 坂田 映子 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）	学校現場での勤務経験を持つ教員が、保育内容（音楽表現）における専門的事項について指導する。		
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項		
「学位授与の方針」との関係 DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 【授業テーマ】 幼稚園教育における感性と表現に関する領域「表現」（音楽）の理解 【到達目標】 ・幼稚園教育要領における「感性と表現に関する領域「表現」（音楽）内容全般について理解する。 ・幼児の音楽的成長と音楽環境について10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び他領域との関連から理解する。 ・音楽表現における音楽的な見方・考え方について音楽的活動を通して理解する。 ・音楽表現における主体的・対話的深い学びについて理解する。			
授業の概要 幼稚園教育要領における感性と表現に関する領域「表現」（音楽）の内容及び歌唱・器楽及び身近な自然、ものの音や音色などに親しむ体験を通じた豊かな感性育成について理解する。また、音楽表現に関する音楽的な見方・考え方を活かし、幼児が主体的・対話的深い学びができる指導法を身に付ける。			
授業計画 第1回：幼稚園教育要領「感性と表現に関する領域」「表現」（音楽）の内容の理解 第2回：豊かな感性を養うための音楽環境、幼児と教師との受容と共感的理解 第3回：幼児教育における音楽的活動と他領域との関係の理解 第4回：幼児の音楽的活動とその援助の在り方の理解 第5回：歌唱の表現活動と主体的・対話的深い学びの理解 第6回：器楽の表現活動と主体的・対話的深い学びの理解 第7回：音遊び、音楽遊びの理解 第8回：第1回～第7回を参考に幼児教育における音楽表現活動の必要性を考察 第9回：「幼児を取り巻く音楽環境」音環境マップ作り 第10回：ボディパーカッション作り 第11回：楽器を使ったオスティナート演奏による即興表現 第12回：歌い継いでいきたい子どもの歌と発声法 第13回：鑑賞と身体表現活動 第14回：10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と音楽表現 第15回：まとめ 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト 文部科学省(2018)『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 978-4-577-81447-5 井口太代表編著(2018)『最新・幼児の音楽教育・保育士養成のための音楽的表現の指導』朝日出版社 978-4-255-15627-9			
参考書・参考資料等 ・文部科学省(2017)『新幼稚園教育要領のポイント (mext.go.jp)』 ・坂田映子(2020)『音との出会い -幼児の音遊びに着目して-』星槎大学教職研究第5巻pp.31-38 (星槎大学教職総合支援センター)			
学生に対する評価 レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			